

令和3年度 学校努力点 推進計画（案）

【研究主題】

「自分の考えをもち、なかまと学びを深める汐路っ子」
～「学びの深まった姿」を具体化して～

1 研究主題について

新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、児童が「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」という視点での授業改善が求められている。

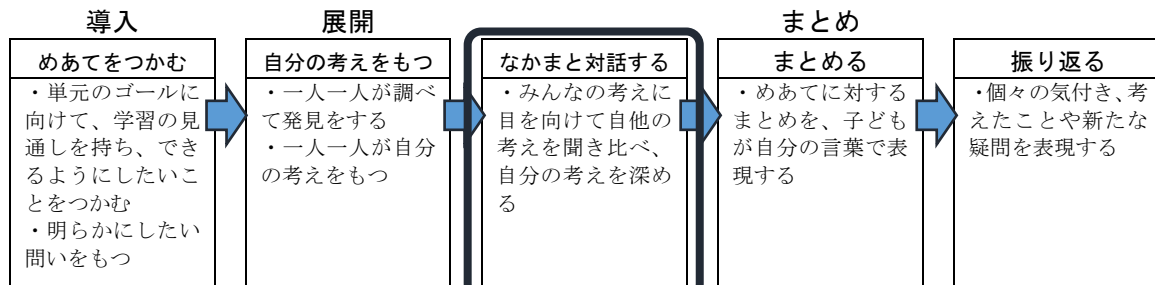
平成30年度の全国学力学習状況調査の結果から、本校の児童は、知識を習得することには長けているが、自分の考えをもち、授業の中でその考えを深めたりすることに課題があると分かった。そこで、「どのように学ぶか」という視点での授業改善を行うことで、知識を習得する受け身の学びでなく、自分の考えをもち、多様な考えをもつ学級の仲間と、その考えを深めることができるようにしたいと考えた。令和元年度は、話型の活用や机の配置の工夫などの手立てを用い、一人一人が考えをもち、ペアやグループで考えを伝え合うことに重点を置いて実践を行った。令和2年度は、チャートやふせん、色カードなどの手立てを用い、みんなの考えを聞こうとする意識を高めることや、多様な考えがあることに気付くこと、聞き比べたことを情報として整理する力を身に付けることに重点を置いて実践を行った。児童は、理由や根拠を明らかにしながら自分の考えを伝えたり、自他の考えを聞き比べたりすることができたが、授業や単元のねらいが明確でなかったり、ねらいと手立てが結び付かず、考えを深めることにつながらなかったりするという課題が残った。

そこで本年度は、サブテーマを「～『学びの深まった姿』を具体化して～」とし、授業や単元における「学びの深まった姿」を具体化することでねらいを明確にし、「学びの深まった姿」とねらいを結び付ける有効な手立てを考える。「何を学ぶか」と「どのように学ぶか」を一体化して授業改善を行うことで、児童が自分の考えをもち、授業の中でその考えを深められるようになることを目指す。

2 研究の方法

(1) 研究の構想

過去2年間と同様、本市の掲げている「なかまなビジョン」に示された授業の流れを基本とする。①「学びの深まった姿」を具体化すること、②授業や単元のねらいを明確にすること、③「学びの深まった姿」とねらいを結び付ける有効な手立てを考えることの三つに重点を置いて研究に取り組む。



手立ての例

- 課題設定の工夫
- 自分の考えを友達に伝えるための手立ての工夫
- 共通点や相違点などの観点から聞き比べたことを整理し、自他の考えを聞き比べるための手立ての工夫